

平成29年度主要事業（消費生活センター）

1 啓発物品（紙製ものさし）配付

高齢者実態調査（5月～6月）に合わせ、75歳以上の高齢者世帯に消費生活センターの機能と相談専用電話の周知を図ることを目的として、地域での見守り活動を行う民生委員の協力の下、紙製ものさしを配布した。（111,000枚）

また、平成30年度に配布する啓発物品については29年度中に作成する。

2 学校における消費者教育の推進

平成28年度に作成した特別支援学級向け教材の活用を含め、学校における消費者教育を推進するため、5月に教員OBを消費者教育コーディネーターとして採用した。

教育委員会との連携や、学校の支援等の業務を行う。

3 暮らしの情報いずみ 特集号

消費生活センターの機能周知や消費者教育に関する啓発を行うため、市政だより8月15日号に折り込み、市内全域に配布を行った。

4 悪質商法等被害防止講演会

9月の高齢者被害防止共同キャンペーンにおいて、若葉区・美浜区・緑区の3区で千葉県警と連携し、悪質商法等被害防止講演会を開催した。

日程	会場	参加者数
9月22日(金)	若葉保健福祉センター	10人
9月25日(月)	美浜保健福祉センター	21人
9月28日(木)	緑保健福祉センター	18人
合計		49人

5 区民まつりにおける啓発 ※すべて日曜日

日程	場所
10月1日	美浜区民フェスティバル（稲毛海浜公園）
11月5日	若葉区民まつり（東京情報大学）
11月5日	緑区ふるさとまつり（昭和の森）

啓発紙（暮らしの情報いずみ特集号）の配布のほか、社会福祉協議会の協力のもと、ブースでの資料配架を実施。中央区、稲毛区、花見川区は雨のため中止。

6 消費者サポーター養成講座

様々な消費者トラブルの現状を知り、見守りについて考える講座を開催する。

(平成30年3月2日開催予定)

7 巡回講座・啓発等

巡回講座については、各団体の依頼に基づき実施する。

障害者を対象とした啓発については、12月に障害者自立支援課との連携により障害者福祉大会や千葉市手をつなぐ育成会、千葉市肢体不自由児者父母の会が開催するクリスマス会において啓発品配布を実施。